

保護者に寄り添う “アウトリーチ型支援”の 普及・定着に向けて

※ここでは、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者の居場所(自宅や学校、乳幼児健診の場など)に向向いて、保護者に寄り添って行う家庭教育に関する支援一般を指します。

～ 子育てに関する保護者の悩みや不安を解消し、子供たちの健やかな育ちを支えるために ～

家庭を取り巻く環境の変化(共働き家庭やひとり親家庭の増加、地域のつながりの希薄化など)や、子供の育ちをめぐる課題(不登校、いじめ、児童虐待など)が顕在化する中、家庭教育に関する支援が届きにくい家庭への対応を充実するため、地域の実情に応じた“アウトリーチ型支援”の普及・定着に向けて、その意義や実施方法等を協議します。

なぜ今アウトリーチ?

何をどうやるの?

どんなことに
気をつけるの?

日時

令和2年

2月18日^火

10:00～16:15

場所

文部科学省
東館3階第1講堂

参加者

行政関係者、民間団体や
地域における関係者等

定員

300名

プログラム

9:30 10:00	受付(表彰受賞者は、9:10～9:30)
10:00	開会
10:10 10:45	令和元年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る 文部科学大臣表彰
11:00 12:20	事例報告(80分)(具体的な取組事例を報告していただきます) 茨城県、山口県・岩国市、釧路市(北海道)、泉大津市(大阪府)、 湯浅町(和歌山県)
12:20 13:30	昼食休憩
13:30 14:30	パネルディスカッション(60分) (“アウトリーチ型支援”の具体的な実施方法などを協議します) 【コーディネーター】 水野 達朗氏 (一社)家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事 【パネリスト】 事例報告を行った各自治体の関係者
14:45 16:15	ワークショップ(90分) (参加者全員がグループに分かれて、地域の実情に応じた“アウトリーチ 型支援”の実施方法などを協議します) 【ファシリテーター】 水野 達朗氏 (一社)家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事
16:15	閉会

参加費
無料

申込方法
裏面参照

保護者に寄り添う“アウトリーチ型支援”の普及・定着に向けて

参加申込みについて

文部科学省ホームページにある、お申込みフォームからお申込みいただくか、下記に必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。

【URL】 http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/katei/1422711.htm

FAXでのお申し込みは **03-5395-1206** まで



申込期限

令和2年

1月31日(金)

フリガナ			
氏名			
所属 ※1	1. 都道府県（教育部局）	5. 民間団体（NPO、企業等）	
	2. 都道府県（福祉部局等）	6. 地域における実践者（家庭教育支援チーム員等）	
	3. 市区町村（教育部局）	7. その他	
	4. 市区町村（福祉部局等）		
	所属先名称		都道府県
TEL		FAX ※2	
E-mail			
その他 ※3			

※1 主な所属を1～7から1つ選択し、所属先の名称及び都道府県をご記入ください。

※2 FAXで参加申込みをされる方は、受付完了のお知らせを送付するため、必ずFAX番号をご記入ください。

※3 参加にあたり、特記事項等がありましたら、ご記入ください。（車椅子利用など）

交通案内



合同庁舎第7号館の西館と東館の間にある2階共用ロビーから受付完了メールまたはFAXを提示して、お入りください。文部科学省正面玄関からは入ることができません。

■東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」11番出口より徒歩1分
■東京メトロ丸の内線、千代田線、日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩5分



文部科学省は、身近な地域において保護者への支援を行う家庭教育支援チームの設置や活動を促進しています。



文部科学省は、「早寝早起朝ごはん」全国協議会と連携して「早寝早起朝ごはん」国民運動を推進しています。